

1993年10月14日

国内専用の小型乗用セダン アスコットとラファーガを発売

本田技研工業(株)は、日本のクルマ社会に焦点をあてて開発した新コンセプトの小型乗用セダン「アスコット」と「ラファーガ」の双子車をそれぞれプリモ店とベルノ店から10月29日より発売する。

両車は、取り回しのよい5ナンバーサイズとしながら、同クラスでは際立つ背高デザインを採用することにより、ゆとりある居住スペースを確保するという独自の高效率パッケージを採用した。

また、風格を備えたフロントマスクや、高い車高のひときわ目立つスタイリングと高品位なインテリアに加え、上質な縦置5気筒エンジンをフロントミッドシップに搭載し、成熟した国内小型乗用車市場のなかにあって、ユニークな個性を主張する提案型の商品とした。

具体的には、

- 背高(1,425mm)5ナンバーサイズで、十分な居住性と扱いやすさを両立。大きめのフロントグリルとロングノーズ・ショートデッキの個性的なスタイリング。
- ウェルテラーメイド感覚、全周囲ファブリックのくつろぎインテリア。
- パワフルで上質な走りの縦置5気筒エンジン。優れた乗り心地の実現。
- '94年からの新保安基準を先取りした安全法規への対応。

など、高い基本性能を備え、安全や環境にも充分配慮した、個性的で存在感のあるセダンとした。



左：アスコット 2.5S / 右：ラファーガ 2.0S

●商品の概要

エクステリア

扱いやすい5ナンバーサイズと、背が高く個性的で存在感のあるスタイリング。

- ロングホイールベースとショートオーバーハングを基本に、取り回しの良いコンパクトなボディ、居住性に優れたビッグ&トルクキャビンなど斬新な発想による「背高・高効率パッケージ」を採用。
- フードからキャビン、リアデッキにかけてシャープなウェッジラインとし、同時に、厚みのあるエンジンフードや張りのあるサイドパネルなどにより、力強く塊り感のあるプロポーションとした。
- バンパーと一体化した大型フロントロアスカートや横に張りだしたサイドシルガーニッシュ、ハイデッキートランク、リアのロアスカートなどにより優れた空力特性を実現。
- 「アスコット」「ラファーガ」とともにスポーティさ、爽やかさ、若々しさを基調にしながら、「アスコット」には知性や格調など一層の上質感を、「ラファーガ」には洗練された都会的なセンスや艶をそれぞれイメージし、ヘッドライトやフォグライト、サイドウィンドウまわり、ライセンスガーニッシュなどのデザインを差別化した。

インテリア

落ち着きやくつろぎを感じさせる、洗練された上質な居住空間。

- 前後席ともにヒップポイントを高めに設定することで、運転のしやすさや見晴らしのよさとともに、ドア開口部の形状とあいまって優れた乗降性を実現。さらに、ヘッドクリアランスや後席の足元空間を十分に確保。
- 肌ざわりのよい良質な素材でドアの内側を布張りとし、高品質なシートとともに乗る人をやさしく包み込む、全周囲ファブリックの快適な居住空間を実現。
- センターポケットをはじめ、グローブボックス、カセットホルダー、カップホルダーなど数々の収納スペースを設定し、実用性を重視。

エンジン・トランスミッション

5気筒エンジンの心地よい走りを実用域での扱いやすさを両立。

- FFとして理想的な前後重量配分を持つ、ホンダ独自のFF縦置ミッドシップレイアウトの採用により、リニアなハンドリングや優れた直進安定性など、高質な走りを実現。
- 2.0ℓ、2.5ℓともに静粛性に優れた直列5気筒20バルブエンジンを搭載。高出力とともに低中速域での高いトルク特性を確保した、実用性を重視するチューニングを施している。
- オートマチック・トランスミッションには、より人間の感性に近づいたプロスマテック(タイプII)を採用。走行状況を的確に判断し最適なシフト制御を行なうことで不要な自動変速を防ぎ、スムーズで快適なドライビングを実現している。

サスペンション

快適で上質な乗り心地など、一層洗練された4輪ダブルウィッシュボーン・サスペンションを採用。

